



令和4年8月22日
発行 美保だいせん会
印刷 東京印刷株式会社

航空自衛隊安全の日

與儀司令、朝礼台上から隊員達へ安全についての思いを説く



考え方の工夫をと訓示する與儀司令

7月1日(金)、22回目の航空自衛隊安全の日を迎え、美保基地では業務にまつわるあらゆる安全についてを熟考する様々な取り組みが実施された。

第3輸送航空隊は基地東グラウンドでの朝礼を隊員間の間隔を広くとったウィズコロナ形式で行った。



小グループによる討論の様子



続々と朝礼場に集まる隊員たち

近頃では参加者を限定した朝礼やテレビ会議など、コロナ対策のために多くの隊員たちが一堂に会する機会が皆無とも言える中、久しぶりに人数を制限しない朝礼となった。

朝礼では、殉職者に対する黙とうの後、與儀司令が安全について「単に知識として頭に入れるのではなく、事故の関係者の一人として、例えば身内の方に身を置き換えて話を聞くとすれば、新たな気づきが生まれるかも知れない。また、教育の場だけに限らず、それぞれの隊員が安全に対しての考えを口にすることで、皆さんがそれぞれ自分の言葉で語り掛けることによって、それぞれの隊員の心に響く事、或いはずっと心に残る言葉が出て来るかも知れない。

この安全の日がそういう機会になることを望みます。今日は安全についてしっかりと考えていこう。」(要旨)と訓示した。

その後は、終日にわたって部隊ごとに安全についての教育や考察、気風を高めていくための方策を導き出すためにディスカッション、身の周りの環境などに潜む不安な点を見つけ出し排除する活動など、安全を見つめなおす活動に全隊員で取り組んだ。



無事故への誓いを述べる松浦飛行群司令

6月28日(火)、飛行群、整備補給群本部、検査隊は基地慰霊碑「天翔の碑」において慰霊行事を執り行った。

隠岐の島近海上空で整備試験飛行中であったC-1輸送機027号機の墜落事故から22年が経過し、当時を詳しく知る隊員も少なくなる中、参列者たちは天翔の碑とその遙か先、隠岐の島の上に広がる晴れ渡った大空を見つめ、志



過去を知り、考え、心に安全の芯を育む

半ばにして職に殉じられた御霊に対して思いを致している。

松浦飛行群司令は、「事故から22年が経ち事故以降に入隊した隊員が大半となりますが、英霊の遺志は今でもしっかりと受け継いでおります。『慰霊の日』は、全隊員が安全への誓いを心に刻む、意義深い日です。一人一人が安全の『要』であることを自覚し、安全と精進を追求し、今後も英霊の使命感を継承していくことを固く誓います。」(要旨)と追悼の辞を述べた。



今日は一つの通過点、更に無事故を継続していきます!

地上安全が称えられる

無事故の歩み、直実に

整備補給群装備隊は7月1日、3年間の地上無事故を成し遂げたとして與儀司令から地上安全褒賞が授与された。

授与式は航空自衛隊安全の日の朝礼に先立ち実施された。

表彰式の後、装備隊長の宮崎1尉は「歴代隊長、隊員の努力の賜物です。引き続き事故のない装備隊を目指していきます。」と意気込みを語った。



沢山の隊員らの注目を受け、栄誉が授けられた



参列者を代表し、献花(生野整備補給群司令)

参列者を代表し、献花(草野検査隊長)



大入りの会場に感激の音楽隊

3年ぶりの音楽演奏会を開催

ふれあいコンサートin境港は活況におわる

境港市と美保基地が共催する音楽イベント「ふれあいコンサートin境港」が7月10日(日)、境港市民交流センターみなとテラスで開催された。

会場となった「みなとテラス」はこの日がグラ

演奏は2部構成で、9曲のほか、アンコール2曲の合計11曲が披露された。

コロナ感染症予防のために大きな声が出せない分、音楽隊と観客は演奏に手拍子と拍手で結ばれて一体となり、文字どおりのふれあいコンサートといった印象であった。



吹奏楽部生徒と音楽隊員とのふれあい

石真真さんが献花を一欠り出してくれました

夏は分厚い雲を見ることが多い。10数年前、大学で野外活動部に所属していた私は、部員14名と夏季恒例の12日間の長期合宿のため関西地方の某地域を訪れていた。やることといえば、キャンプ場が点在する地域に向かい、4、5箇所の野営地を転々とし、野営技術を習得するのだ。

部員の各々が、先輩方から受け継がれた野営道具が入った60Lのザックを背に、計画した次の野営地を目指し、山道を列となり歩を進めていた。その時、突然強い雨に襲われた。事前に確認した天気予報になかった想定外の事態だ。次の野営地まではまだ距離があり、出発地のキャンプ場の管理人の方から頂いた周辺地図を開き、近隣の公民館を時避難所にすることを決め、部員揃って雨の中を急いだ。無事に部員全員が公民館に到着して間もなく、雨が滝のように降り出し、30分程で止んだ。集中豪雨である。野営道具や身体はぐつし濡れたが、部員の士気に影響はなく、キャンプ地到着が少し遅れた程度で済んだ。今でも当時の仲間と顔を合わせる度に、この話題になり当時の感情を改めて伝え合うので、良い思い出となっているのだ。

しかし、度重なる自然災害の報道が顕示する通り、自然はいつも我々の味方ではない。夏は海、川、山などを訪れる機会が増える。屋外での行楽を計画する際は、自然に潜む危険性と発生する要因、備えるべき基礎知識を踏まえた上で、存分に楽しむよう計画しようと思う。

(夏生まれ)



警備犬ゴロウ号を悼む

仲間たちに見送られ御霊は安らぎの彼方へ



悲しみの譜が吹奏される中、花束が捧げられた

7月4日(月)、去る6月11日に死去した警備犬ゴロウ号の慰霊行事が管理隊犬舎顕彰碑にてしめやかに執り行われた。

慰霊行事では「警備犬としての活躍はもとより、警備犬取扱者の育成に多大な貢献をしてくれました。令和3年11月にガンであることが発覚してからは、肺炎も克服し、強い警備犬であることを示してくれましたが、令和4年6月11日に息を引き取りました。9歳11カ月でした。」(要旨)と功績が紹介された。

担当取扱者の大賀士長から「今でもふとした時にゴロウの甘えていた姿が目につきます。これからも警備犬と担当者がワンチームとなり、立派なハンドラーとなるべく頑張ってください。」(要旨)と追悼の辞が述べられた。最後に「警備犬ゴロウ号に対し「敬礼」の号令の下、参列者たちから敬礼が捧げられ、ゴロウの御霊は彼の地へと旅立った。(碑には歩哨犬と刻まれています。ゴロウ、ステキな時間をありがとうございます。)



ゴロウ、ステキな時間をありがとう

中海・弓ヶ浜ボランティア2正面作戦

幹部部隊、准曹部隊が

境港市内各地で環境美化作戦を敢行

美保基地幹部会と美保基地准曹会は、6月11日(土)と6月12日(日)にそれぞれ白砂青松活動と中海・宍道湖一斉清掃のボランティア活動に参加した。

白砂青松活動では美保基地准曹会と有志隊員たちが参加し、陸上自衛隊美保分屯地曹友会とタッグを組み、総勢約70名規模で弓ヶ浜海浜のゴミや漂着物の回収と松林に茂る高く伸びた雑草を刈り取る活動に汗を流した。

一方、中海での清掃活動は、正しくはラムサール条約湿地「中海・宍道湖」一斉清掃と呼ばれるもので、この日に中海と宍道湖の沿岸の広域で実施される年に一度の大規模環境整備イベ

ントである。こちらには與儀司令をはじめ、美保基地幹部会から総勢約50名が参加し、境港市の担当する中海と境水道との接続部にあたる親水護岸を協賛団体の方々と力を合わせ、ゴミを回収するローラー作戦を展開した。

これからの活動によって、各地域からは多くのゴミなどが姿を消し、砂浜と親水護岸は美しさを取り戻すことができた。

活動中、参加者からは「海岸にこんなに景色がきれいな場所があったんだね。」との声も聞かれた。レジャーで出たゴミは努めて持ち帰るなど、この美しい水辺を大切にしていきたいものである。



石の隙間も入念にゴミ回収



周りへの配慮もしっかりと、丁寧に草刈り



ラムサール条約、中海隊の精鋭たち



白砂青松、弓ヶ浜隊の精鋭たち

モニター団が部隊研修

美保基地近隣の自衛隊部隊を 精力的に巡回

今年度の美保基地モニターを中心としたモニター団は6月10日(金)、美保基地及び高尾山分屯基地、陸上自衛隊米子駐屯地の実態を知るべく北へ南へと部隊が担う防空監視任務について研修した。

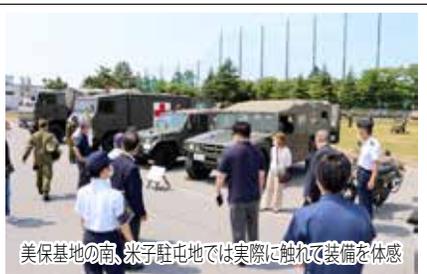
なお、高尾山分屯基地では、テレビなどでも話題となっている自衛隊メシの喫食体験も行った。続いて陸上自衛隊米子駐屯地へと移動し、陸上自衛隊が担う任務と米子の駐屯部隊が担う任務について解説を受け、航空自衛隊が持つ装備とはまた違った装備品群に実際に触れ、乗車し、陸自隊員が持つ特別な能力(高所からの懸垂降下)を目の当たりにするなどした。



美保基地の北、高尾山の尾根にあるリーダー地区から弓ヶ浜を背景に



警備犬ラキ号とハンドラーによる服従訓練を研修



美保基地の南、米子駐屯地では実際に触れて装備を体感

対する理解は大いに深まったに違いない。

隊友会と家族会が隊員を激励

人道救援任務への激励と殉職隊員への哀悼を捧げる

鳥取県隊友会と鳥取県自衛隊家族会を代表して、鳥取県隊友会から内田義則顧問と西田勝造事務局長が、鳥取県家族会から前田節夫会長と上治百合子副会長、田中俊子事務局長からなる一行が5月23日(月)美保基地を訪れ、與儀司令は表敬とウクライナ被災民への人道救援物資の輸送任務にあたる隊員に対し



與儀司令(中央)の左側が隊友会の方々、右側が家族会の方々、生野整備群司令(最左)、松浦飛行群司令(最右)



上治家族会副会長から殉職隊員らへ哀悼が捧げられました

の激励品の贈呈を受けた。懇談の後、一行は基地慰霊碑である天翔の碑を訪れ、殉職隊員らへ哀悼を捧げた。



手際よく手分けして清掃する姿は日頃のチームワークの賜物ですね

美保基地オーブンスペース月間

地域に根ざした基地の在り方を模索

美保基地では5月30日(月)より、美保基地オーブンスペースと称する小規模の基地見学を対象者限定として実施中である。これはコロナ感染症流行の影響で開催が見送られた美保基地航空祭に代わり、日頃から基地の活動に協力して下さっている団体や美保基地周辺の地域住民に基地の運営状況を実際に見ていただく事で、リアルに美保基地の現在を理解してもらうためのイベントとして企画されたものである。



間近で見るCH-47JAの迫力に驚き



破壊機救難消防車による迫力の放水

展示航空機に輝きが戻る

美保管制隊が資料館協力のF-1支援戦闘機を清掃

航空自衛隊「挨拶、掃除、身だしなみ」励行週間に因み、7月5日(火)美保管制隊の隊員たちによる展示航空機(F-1)の清掃が基地資料館協力の展示場で実施された。



手際よく手分けして清掃する姿は日頃のチームワークの賜物ですね

期待の新人あらわる

ホープ登場

電機分隊 森 和佳奈 空士長
 動力器材分隊 権田 結己 空士長
 油圧分隊 香川 美月 空士長

だいせん新聞をご愛読のみなさま、こんにちは！今回のホープは、令和3年度に修理隊に仲間入りをした、期待の新人女性自衛官をご紹介します。

最初に、電機分隊の森和佳奈空士長。愛媛県松山市出身、趣味はナノブロック、座右の銘は「臥薪嘗胆」。穏やかな中にも芯の強さを感じる隊員です。

次に、動力器材分隊の権田結己空士長。埼玉県寄居町出身、趣味は映画鑑賞・料理、旅行、座右の銘は「一期一会」。活発で、誰とも仲良くなれる隊員です。最後に、油圧分隊の香川



左から森士長、権田士長、香川士長

だけではなく、自衛隊全体で女性自衛官の採用数を増員しています。今回紹介した3名のような若年女性隊員がイキイキと業務ができ、男女共に働きやすい職場環境を作っていきたいものです。P/N 修理隊の姐さん

職場紹介

基地業務群通信隊 通信小隊

秘密の小窓からこんにちは



「だいせん」新聞をご覧のみなさん、こんにちは。今回は基地業務群通信隊通信小隊の職場紹介です。通信小隊は通信小隊長以下十名の少数精鋭であり、主な業

務は、航空輸送に関する無線業務と文書の配信等に関する業務です。航空輸送に関する無線業務は、航空機とモールス符号等を活用して送信し、必要な情報を関係部署に連絡するものです。配信要領は法令できちんと定められています。もし、テキストな通信が見つかれば先輩方からありがたい説教を長々と受けることとなりますので、緊張感をもって実施しています。文書の配信等に関する業務は、他基地から着信した文書を適切な部署に配布するものです。通信所の受付窓口に来られた方は「存在」と思いますが、「宛先が「マス右」とか「ページ番号がない」とか、とにかく細かい指摘をしま

す。あくまで「文書の作成及び処理要領」により指摘していただきますのでご了承ください。私たちの職場は厚い扉で閉ざされた空間ですが個性豊かな人が多く、楽しくアットホームな雰囲気です。勤務しています。今後、文書の配信等に関する業務の変更により、私たちの職務内容も変わっていきます。皆さまとは違う形でも増える機会があるかと思



通信班のゆかいな仲間たち



基地業務群通信隊 竹内士長

家庭訪問

美保管制隊

牛島 捺樹 士長宅の巻

「お小遣い制で夫婦円満」

だいせんをご愛読のみなさん、こんにちは。今回は、美保管制隊の牛島士長のご家庭を紹介させていただきます。

ご家族は、管制現場で活躍する大黒柱・牛島士長、同じ自衛官で家庭を支える奥様・由希美さん、癒し担当の風斗君の3人です。お2人の出会いは10年前になります。当時、高校

で同じ吹奏楽部の先輩後輩で、入部間もなかった後輩の奥様に猛アタックし、見事結ばれたそうです。お休みの日にはよく家族3人でお買い物や近くの公園でお散歩をして楽しんでるそうです。また、筆者が牛島士長のお宅にお邪魔したときは、笑顔の風斗君が迎えに来て、奥様の手作りカレーをご馳走になり、牛島家の幸せの一部を堪能させていただきました。



仲良し家族です！

現在、牛島士長は家族でドイツに

ランズに行くために、お小遣い制で節約に努めていたそうです。本人曰く、「お金はあったら使っちゃおうから、お金のことは全部奥さ

んに任せている」と、夫婦円満の秘訣を教えるもらいました。奥様からも、「いつもありがとう。でも無駄遣いはしないでね」と、感謝の言葉があり、牛島士長はとても幸せそうな顔をしていました。

最後に、一人前の自衛官として、また、元氣な格好いいパパとして管制隊を引っ張っていかれる牛島士長を目標に私も頑張っていきたいです。

美保管制隊 田中士長

私の宝物

離れていても家族の心を つないでくれる魔法の宝箱



これはとっても大切なストレージですね！バックアップお忘れなく！！

だいせん新聞をご覧の皆様こんにちは。今回は私の宝物を紹介させていただきます。私の宝物は、携帯電話の宝物なのか。

それは、家族とつながることのできるアイテムだからです。今年の3月に新田原基地から美保基地に単身赴任して、愛する妻(鬼嫁)と息子(1歳6か月)と離れ離れになりました。同じ境遇の方も多いかと思

で、仕事へのモチベーションを維持することもできません。携帯電話がなくては生きていけないくらい大切な宝物になりました。妻と結婚し息子が生まれ、一緒に暮らした数々の思い出の写真や動画で、私の宝物のストレージはいっぱいになっています。これからは家族との思い出を私の宝物にたくさん詰め込みたいと思います。

正直なところ、家族と公園などで遊んだり、息子の成長を妻と一緒に見守りたいです。また、一緒に暮らせるようになったら今以上に家族サービスに励みたいと思います。

皆様も携帯電話に家族や恋人との素敵な思い出を詰め込んでみてください。

美保管制隊 日浅3曹

ふるさとバンガイ

『火ノ国くまもと!!』

～熊本県～

気象隊 士長 上村隼介

だいせん新聞をご覧の皆様、こんにちは。今回のふるさとばんがいは、私の故郷である熊本県について紹介させていただきます。

九州地方の中央に位置する熊本は、自然、文化、娯楽等、様々な魅力の詰まった

た県であり、日本百名山の一座である活火山「阿蘇山」裏山の滝として有名な「銅ヶ滝」、田舎情緒のある温泉街「黒川温泉」などが特に有名です。

また自然を生かしたレジャー施設も多くあり、自然と健康をテーマにした「阿蘇ファームランド」は、阿蘇の自然で育った酪農の食品を味わうことができます。

更に家族でアスレチックや温泉施設を堪能できるテーマパークです。

同じく阿蘇市にある「阿蘇カドリー・ドミニオン」は、天才志村どうぶつ園で一躍有名になった



新、熊本城完全復活!!



お月見

今年の中秋の名月は9月10日、お天気に恵まれて風情あるお月見ができると良いですね。



住所 鳥取県米子市

6月12日付
 第3輸送航空隊
 地現 博 准尉

第2の人生 お元気で6月定年退官者